

# 平成 24 年度 愛媛大学総合技術研究会 開催報告

愛媛大学総合技術研究会 実行委員長 十河 基介

## 1. はじめに

平成 24 年度愛媛大学総合技術研究会（愛媛大学主催）が、平成 25 年 3 月 7 日（木）、8 日（金）の 2 日間にわたって、愛媛大学城北キャンパス共通講義棟および、ひめぎんホールにおいて開催された。本研究会は全国の大学、高等専門学校および大学共同利用機関の技術職員が、日常業務で携わっている広範囲な技術的教育・研究支援活動について発表する研究会である。発表内容も通常の学会とは異なり、日常業務から生まれた創意工夫や失敗事例なども重視し、参加者の技術交流と技術向上を図ることを目的としている。本稿において開催準備から実施までの概要について報告する。

## 2. 開催決定から実行委員会の設置まで

平成 24 年度に愛媛大学において総合技術研究会を開催することは、平成 18 年度名古屋大学総合技術研究会における運営協議会において開催を表明し、認められた。開催までの 6 年間における準備作業の最初として、愛媛大学内の 3 つの技術組織、医学部等技術部、工学部等技術部、農学部技術室による共同開催の体制作りを行った。まず、工学部等技術部内に「総合技術研究会準備委員会」を設置し、開催概要の素案を作成した。この素案を基に他の技術組織および関係各位に対して総合技術研究会の開催についての説明を行い、共同開催の体制を構築した。その後、大学長、理事、事務部関係各所への説明を行い、平成 23 年 10 月に「総合技術研究会実行委員会」（以降、実行委員会）を設置した。

## 3. 実行委員会について

実行委員会の設置にあたって「総合技術研究会実行委員会設置要綱」を制定し、各技術組織の技術職員からの委員をもって組織した。実行委員会は全体的な運営方針や調整を行うこととし、実務的事項の検討については実行委員会に 3 つの「部会」を置き、各部会がそれぞれ担当する事項の検討を行った。部会とその業務の概要について表 1 に示す。各部会において検討された事項の報告、検討および情報共有のため、随時、実行委員長と部会長で構成される「部会連絡会」を行った。部会連絡会において検討された事項は、実行委員会の承認の後、その内容は「報告書」として全技術職員にメーリングリストで報告された。これにより開催準備の進捗状況等の情報が全技術職員間で共有され、開催に向かっの技術職員の一体化に役立った。

表 1 部会の担当業務

部会	業務
総務担当	予算・会計等の総務に関する業務、コンベンション協会との連絡調整に関する業務、委員会の開催に関する業務、その他部会に関する業務
発表・会場担当	口頭発表、ポスター発表に関する業務、会場に関する業務
広報・情報処理担当	広報に関する業務、データ処理システムに関する業務

## 4. 開催準備について

### 4.1 開催までのスケジュール

研究会開催までのスケジュールは過去の開催時のものを基に検討した。開催要項の Web による公開、各機関への郵送等の各種案内は、8 月末から 9 月初旬とし、それ以降のスケジュールは以下のとおりとした。

- 受付開始日：平成 24 年 10 月 1 日（月）
- 発表参加申込期限：平成 24 年 11 月 22 日（金）→ 11/26（月）まで延長
- 報告集原稿提出期限：平成 24 年 12 月 25 日（火）
- 聴講参加申込期限：平成 25 年 2 月 1 日（金）
- 参加費振込期限：平成 25 年 2 月 8 日（金）

### 4.2 開催にあたっての方針

開催にあたって『「技の共同体」交流から創造へ』というスローガンを設けた。これは本研究会における様々な交流から、以降の業務につながる新たな技術が創造され、「技の共同体」の構築の場となるような研究会の実現を目標としている。そこで、1) 会場間の移動時間の短縮。2) 開会式、特別セッションは一つの会場で開催する。についての検討を行った。会場の大きさを検討するためには、参加者数、発表件数を想定する必要があるため、前回の開催状況の 2 割増しとした。これらの条件から、1 日目はひめぎんホール、2 日目は城北キャンパス共通講義棟を利用することとした。また 1 日目と 2 日目を別の会場で開催することにより、運営スタッフを集中的に配置することができ、少ないスタッフ数での開催が可能となった。

分科会においては従来の分科会の構成を基本として、過去の開催時に寄せられた意見等を考慮して検討した。その結果、1) 分科会の内容が把握しやすい名称にする。2) 過去の状況から発表件数が多いと予想された、「実験・実習分野」と「地域貢献分野」の分離。3) 要望のあった「自然観測技術分野」の追加。などを反映させた 12 の分科会を設けた。

### 4.3 作業の効率化および業務説明会について

今回の開催における準備、実施にあたっては愛媛大学におけるほぼ全ての技術職員 73 名が参加した。技術職員の人数は、総合技術研究会を開催した過去の大学と比較すると少人数であり、また 3 技術組織における各勤務地は離れているため、開催準備のために頻繁に集まるのが困難であるという問題があった。これらの問題点の解決策として、各準備作業および実施についての詳細なマニュアルの作成、Web システムの構築および活用により、作業の効率化などを行った。また、これらの作業に伴って、本研究会への参加者に対して、メールによる連絡が必要となってくるが、これについても Web システムによって一括で処理できるようにし、作業者の負担軽減を図った。

本研究会においては 12 分科会を設けた。各分科会に正、副分野運営責任者（各 1 名、発表が多く見込まれる分科会については、副責任者 2 名）を置き、発表プログラムの作成、口頭発表の座長依頼等の各分科会に係わる事項についての作業を行った。この分野運営責任者に対して業務説明会を 2 回（8 月下旬、12 月上旬）行った。また、開催直前の 2 月下旬には実施スタッフに対する業務説明会を行った。各業務説明会について表-2 に示す。

表-2 業務説明会

開催日	対象	内容
8/27	分野運営責任者	作業内容、スケジュール、Web システム等についての説明
12/3, 12/4	分野運営責任者	発表プログラム作成、報告書原稿チェック、座長依頼、Web システム等についての説明
2/27, 2/28	全スタッフ	実施に関する業務、タイムスケジュール等についての説明

## 5. 実施報告

### 5.1 運営スタッフおよび参加者の内訳

本研究会の運営スタッフの内訳は技術職員 73 名，アルバイト 42 名であった。スタッフ一覧を別紙 1 に示す。また，本研究会への参加内訳も別紙 1 に併せて示す。発表件数は，ポスター発表 229 件，口頭発表 139 件であった。また，愛媛大学・医学部等技術部から 10 件，工学部等技術部から 2 件の発表が行われた。

### 5.2 開催前日から開催終了まで

開催前日の 3/6（水）から会場設営，リハーサル等の準備を行った。別会場での開催であったため，2 日目の会場設営は 3/7（木）に行った。1，2 日目のスケジュールを以下に示す。

3 月 7 日（木）ひめぎんホール（愛媛県県民文化会館）

12:00 ～ 受付（県民プラザ）

13:30 ～13:40 開会式（メインホール）

13:50 ～15:20 特別セッション（メインホール）

15:25 ～15:50 連絡・案内（メインホール）

技術研究会報告集データベース，以後開催される研究会の案内

16:00 ～16:40 ポスターセッション・A グループ（県民プラザ）

17:00 ～17:40 ポスターセッション・B グループ（県民プラザ）

18:00 ～ 情報交換会（真珠の間）

3 月 8 日（金）愛媛大学・城北キャンパス 共通教育講義棟 他

8:50 ～12:30 口頭発表

13:30 ～15:40 口頭発表

紙面の都合で全ての写真を載せることはできないが，図-1 に 1 日目の実施風景の写真を示す。

開会式は，まず実行委員長による開会宣言が行われ，つづいて開催機関を代表して柳澤康信 学長より歓迎の挨拶が行われた。

開会式につづいて特別セッションとして『「大震災における技術職員の役割」—阪神・淡路大震災，および東日本大震災の事例報告—』を行った。この特別セッションにおいては，東北大学および神戸大学の関係各位に多大なるご協力をいただき，実施することができた。東北大学，本間誠 技術専門職員，神戸大学，大槻正人 技術専門員にご発表いただき，会場全体で今後の取組みにつながる議論が行われた。

ポスターセッションまでの時間を利用して，分子科学研究所の水谷氏から技術研究会報告集データベースについての案内が行われた。また，以後に開催される研究会の案内が，岩手大学，鳥取大学，核融合科学研究所，北海道大学によって行われた。

ポスターセッションは，ひめぎんホール・県民プラザにおいて開催された。229 件の発表を A，B グループの交代制で実施し，会場中で活発な議論が行われた。

ポスターセッション終了後，400 名を超える方に参加いただき，ひめぎんホール 2F の真珠の間において，情報交換会が行われた。まず，大賀水田生 工学部長の挨拶の後，実行委員長による乾杯が行われ，賑やかに交流が進行した。途中，以後に開催される研究会の案内が行われ，最後に一本締めでお開きとなった。



ひめぎんホール



開会宣言





特別セッション



技術研究会報告集データベースの案内

メインホール



ポスターセッション



情報交換会 会場内

開催案内

図-1 1日目の実施風景写真

図-2に2日目の実施風景の写真を示す。

2日目は愛媛大学城北キャンパスに会場を移し、139件の口頭発表が13会場において行われ、各会場においては活発な議論が行われた。また、施設公開として実習工場、愛媛大学ミュージアムが公開され、多くの方に訪れていただけた。



城北キャンパス



発表会場



発表会場



施設公開 実習工場

図-2 2日目の実施風景写真

## 6. おわりに

今回の研究会では、参加者の利便性、少ないスタッフでの運営等について検討を重ね、1、2日目を別会場で開催した。これについては、本研究会におけるアンケートにおいて51%の方に「良かった」との評価をいただくことができた。しかし、ポスター発表においては、200件を超える発表件数に対し、会場規模、掲示板等の備品数などから2グループの張替え方式としたことから、「十分な技術交流ができなかった。」との指摘を多くいただいたことは、反省点であった。アンケート結果を別紙2に示す。

本研究会は愛媛大学の3つの技術組織が共同で開催した初めての行事であり、開催をとおして組織間の連携が深めることができた。今後もこの関係を継続、発展に繋げていければと思う。

最後に、本研究会の開催にあたっては、学内においては学長をはじめ理事の先生方や事務部、技術組織関係各位など、学外においては、過去の開催機関、大学・大学共同利用機関等技術研究会運営協議会など多くの方々のご支援により実現できた。ご参加、ご支援およびご協力をいただきました学内外の皆様に対して、本稿を借りまして心より感謝申し上げます。

## スタッフ一覧（技術職員）

担当	人数
実行委員長	1
実行委員会	6
総務担当部会長	1
受付担当	1
会計担当	1
編集担当	1
情報交換会担当	1
調達担当	1
特別セッション担当	1
発表・会場担当部会長	1
ポスター発表運営担当	2
口頭発表運営担当	2
分野運営担当	26
広報・情報処理担当部会長	1
Webシステム担当	2
サーバー、ネットワーク担当	2
運営スタッフ	28
計	73

## スタッフ一覧（アルバイト）

担当	人数
口頭発表関係	24
受付、ポスター発表関係（2日間）	4
受付、ポスター発表関係（3/7のみ）	12
休憩室関係	2
計	42

## 参加内訳

機関	人数	機関数
研究所	82	9
大学	559	54
高等専門学校	71	23
計	712	86

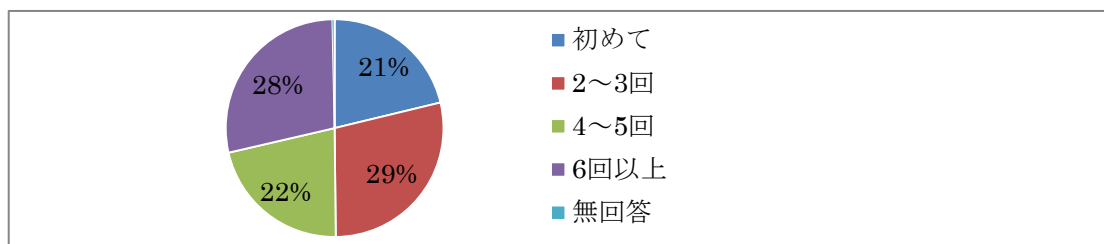


## 愛媛大学総合技術研究会アンケート集計結果

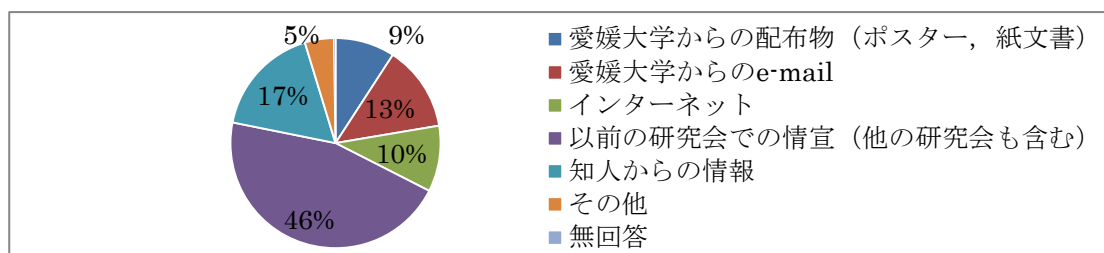
平成 24 年度 愛媛大学総合技術研究会 実行委員会

回答数：311 件，回収率：約 48%（愛媛大学スタッフ数を除く）

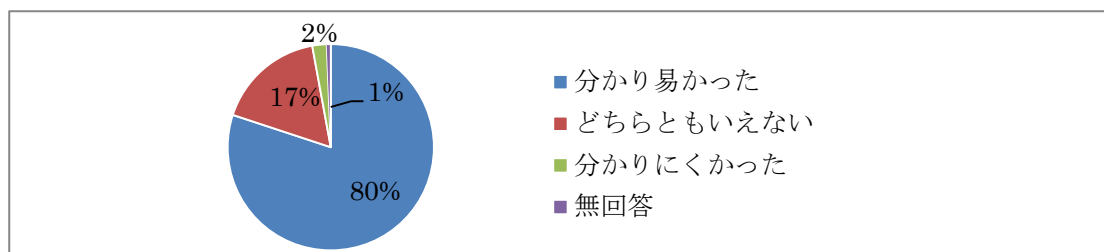
設問 1. 他の全国規模の技術研究会を含め，何回目の参加ですか。



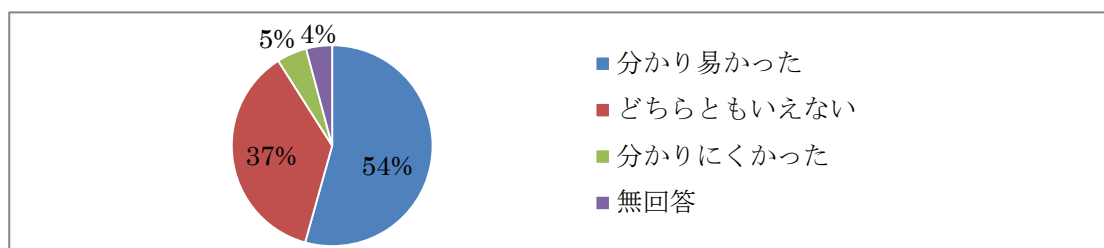
設問 2. 今回の総合技術研究会開催をどのようにして知りましたか。（複数回答可）



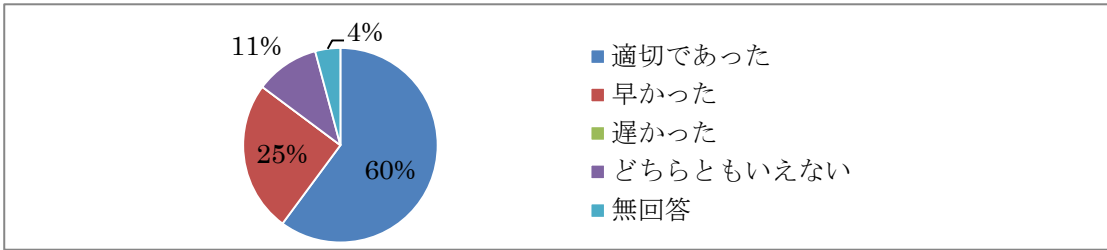
設問 3. 参加申し込み時の Web システムについて



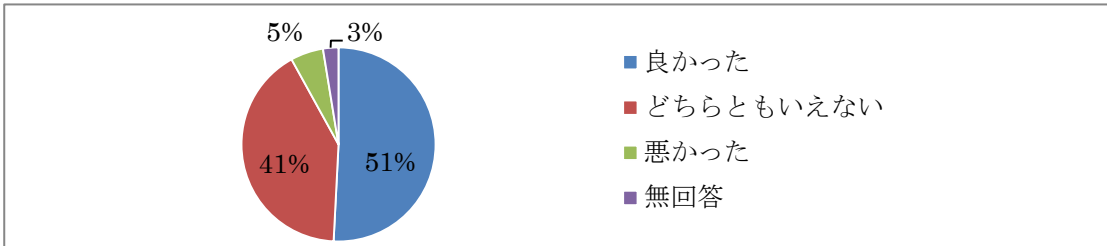
設問 4. 従来の分科会を基本にして，分科会の構成，名称を変更し 12 の分科会を開催しました。いかかでしたでしょうか。



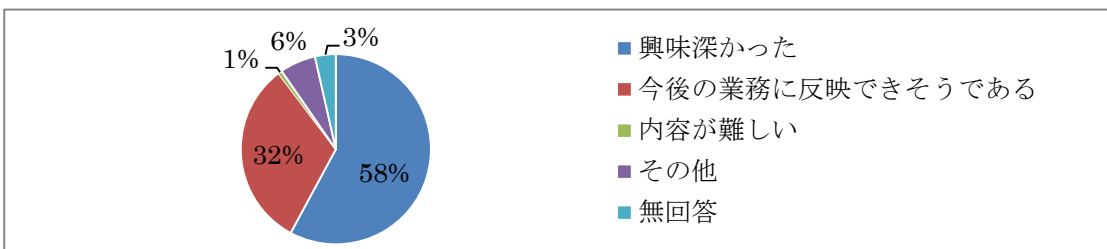
設問 5. 発表申込, 報告集原稿等の締切時期について



設問 6. 一日目, 二日目を別会場で開催しました. いかがでしたでしょうか



設問 7. 口頭, ポスター発表について



設問 8. 特別セッションについて





設問 9. 今回は「交流」をメインに考えたコンパクトな研究会を目指しました。いかがでしたでしょうか



設問 10. 今後、あなたの所属する機関における技術研究会の開催について

